

光学機械・レンズ製造業における死傷災害発生事例（2017年）

年	月	発生時	死傷災害発生事例	年齢	起因物 (小)	事故の 型	労働者規 模
2017	1	9～ 10	当社工場内カット室にて、プラスチックシートに手を添えて裁断していたところ、シート先にある当て木が滑り、シートが奥に入ったため、添えていた手が通常よりも奥に入り、シートをカットする刃で左手中指の先を切った。	36	169	8	50～ 99
2017	4	12～ 13	事業所建物内階段を急ぎ足で下っていた際、足を滑らせ後ろへ転倒し、階段に腰部及び肘を打ちつける。	23	413	1	300 ～ 499
2017	4	9～ 10	被災場所より15メートル程離れた場所で、王水廃液（硝酸・塩酸1:3の混合液）をまとめて移し変える作業が行われていた。被災者は室内にて作業中臭気を感じて屋外へ出た際に、風で流された王水廃液の蒸気の風下に位置してしまった事で蒸気を吸ってしまい、激しく咳き込んだ事で気管入口の縦隔気腫を引き起こした。	19	514	12	100 ～ 299
2017	5	17～ 18	蒸着室内の洗浄機近くで、洗浄機内の使用済みイオン交換樹脂ボンベ（約50kg）を交換する為、ボンベを手で台車にのせようと片膝をつき、しゃがんで持ち上げる時、腰に激痛を感じ動くのが困難な状態になった。	42	611	19	100 ～ 299
2017	5	16～ 17	旋盤作業時（雇製作中）に10kg程度の材料を雇に取り付けようとしたが内径が小さく入らなかった。作業中、材料を落としそうになりとっさに右手を伸ばしたが、重みで体勢を崩し腰を痛めた。	37	521	19	50～ 99
			会社終業後に自転車で帰宅しようとして、西門のセキュリティセンサー				1000

2017	6	16～ 17	に社員証をかざそうとリュックから取り出そうとした時に、バランスを崩して転倒した。転倒した際に、ハンドルに左胸を強打した。	32	231	2	～ 9999
2017	6	11～ 12	作業場内を歩行中、通路上にあった扇風機の足に躓いて転倒した。	39	379	2	100 ～ 299
2017	9	15～ 16	勤務場所のバックヤードに、保管してあった台車を取りに行った時、照明が故障中で全く視界がなく、廃棄物の一時置き場としていたバックヤードの場所に、破いたポスター（廃棄物）が置かれていた上に足を乗上げて転倒し、後頭部を強打した。極めて軽度の内出血が認められるが、それ以外は特に異常なし。医師からの指示で、安静のため入院となった。	62	416	2	1000 ～ 9999
2017	11	9～ 10	表面処理加工場において、点検業者が床下の点検を実施していた際、床下に潜る為に外したグレーチングが元の位置に正しく納まっていなかった。その状態を知らずに被災者がその上を歩き、グレーチングが外れ、足を踏み外してしまった。その時、左足甲を強打し第二指付け根を骨折してしまった。一日様子を見たが痛みが治まらなかった為、翌日の受診となった。	62	418	3	1000 ～ 9999
2017	11	16～ 17	当社、大型タンデムプレスライン作業場において、パレット（890mm×1000mm×1180mm）の中のブランク材（1枚の重さ4.9kg）をまっすぐに立てるためパレットの手前に並べたところ、パレットが倒れて来た。その際、左足を負傷したものである。	35	231	6	1000 ～ 9999
2017	12	14～15	洗浄作業を行うため、切断したガラスインゴットを2人でばらす作業を行っていた。切断したガラスインゴットを固定用専用板の端まで2人でずらす際、被災者がバランスを崩し、専用板の端からガラスインゴットがずり落ちた時に、鋭利になっている切断面で負傷した。	38	529	8	300 ～ 499
			天井開口窓に梯子を掛け、天井裏に設置の給排気設備の点検を実施				

2017	12	10~11	した。点検終了後、梯子に足を掛け降りようとした時、開口窓がボードと枠ごと破損し、作業者が梯子もろ共、約3m下の床に落下した。	39	418	1	50~ 99
------	----	-------	--	----	-----	---	-----------

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to : https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_06.html